

# 平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：みどり自然課

担当名：緑地保全・自然再生担当

内線：3150

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B42	身近な緑の保全事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	身近な緑の保全・創出事業費		
事業期間	平成4年度～	根拠法令	ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例			戦略項目	10	みどりと川の再生		
						分野施策	040101	みどりの再生(身近な緑の保全・創出・活用)		
<b>1 事業概要</b> 減少の一途をたどっている本県の平地林の減少に歯止めをかけるため「埼玉県広域緑地計画」の施策を展開し、計画的に保全を図る必要がある。 そこで、売却・開発が行われてしまう緑地(景観地等)を市町村と協力して公有地化し保全する。また、市民管理協定締結団体が継続的に活動できるよう、ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例に基づき支援する。 公有地化すべき箇所が見込みを下回ったことによる公有財産購入費の減 (1) 身近な緑公有地化事業 21,366千円 交付額が見込みを下回ったことによる補助金の減 (2) 里の山守活動支援事業 1,191千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 身近な緑公有地化事業(4月～3月) 公有財産購入費及び土地売買契約に貼付する収入印紙代 57,246千円 35,880千円 イ 里の山守活動支援事業(7月) 機材、消耗品の購入及び講習会費用などに対する補助 2,284千円 1,093千円 (補助期間は最長5年間) (2) 事業計画 ア 身近な緑公有地化事業 適宜適切に公有地化を行い、樹林地の保全を図る。 イ 里の山守活動支援事業 平成28年度末までに20ha(平地林保全促進事業による支援面積を含む。) (3) 事業効果 ア 公有地化により保全できる緑地面積 0.8ha イ 活動支援により保全できる樹林地の面積 8.7ha (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 ア 身近な緑公有地化事業 市町村と連携し公有地化し、取得後の土地を市町村が管理する。 イ 里の山守活動支援事業 市民団体は支援期間内に保全管理に関する体制を確立し、支援終了後も引き続き樹林地の管理を行う。 (5) 補正予算の概要 ア 公有地化すべき箇所が見込みを下回ったことによる公有財産購入費の減額 21,366千円 イ 補助対象面積が当初の想定を下回ったことによる補助金等の減額 1,191千円						
<b>2 事業主体及び負担区分</b> 県10/10										
<b>3 地方財政措置の状況</b> (1) 地方債 一般単独事業(地域活性化事業) (2) 地方交付税(包括算定経費) (区分) 企画費 (細目) 環境保全対策費(細目) 環境保全対策費 (積算内容) 地域の実情										
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×1.8人=17,100千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
		繰入金	県債							
決定額	22,557	1,191	22,000					634	36,973	
現計額	59,530	2,284	57,000					246		